

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①教育委員会・図書室移転しました／物品無償譲渡会
- ②青少年センターパイパイイベント
- ③令和7年度読書感想文コンクール
- ④厚真町育英資金貸付のご案内／令和8年度就学支援のお知らせ／定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

教育委員会・図書室移転しました

2月27日（金）教育委員会事務局は、青少年センターから土地改良区2階へと移転し、3月2日（月）から新事務所での業務が始まりました。

また、青少年センター図書室も3月19日（木）・20日（金）に総合ケアセンターゆくり1階健康増進室に移転しました。3月19日は業者さんに書架（本棚）を移転していただき、3月20日は役場職員の協力のもと、約1.8万冊の本を青少年センターからゆくりまで運びました。この度の移転業務に携わってくださった皆さんに感謝申し上げます。

移転についての裏話などは、厚真町教育委員会 note「であいと、まなびと。」に掲載していますので、ぜひご覧ください。

教育委員会および図書室の住所・開館時間は下記のとおりです。

○厚真町教育委員会

住所：厚真町京町37番地 土地改良区2階

○厚真町公民館図書室

住所：厚真町京町165番地の1 総合ケアセンターゆくり1階健康増進室

開館時間：月・水・金・土⇒9：00～17：00 火・木⇒9：00～19：00



note は上記QRから



大盛況！物品無償譲渡会



教育委員会では、2月28日（土）～3月1日（日）に青少年センターで物品無償譲渡会を開催し、2日間で約200人を超える参加がありました。譲渡会では、青少年センターで使用していた事務机や長机、パイプ椅子、キャビネット、ソファ等さまざまな物品を出品。初日のスタート時には80人を超える長蛇の列ができ、予想を上回る盛況ぶりでした。物品の展示場所が1箇所ではなかったため、お目当ての物品を探すところからスタート。早く受付をしても探さなければゲットすることはできず、まるで宝探しのような。譲渡品で人気だったのは、長机とパイプ椅子、そして予想外のキャビネットで、希望者による熱い戦いと優しい譲り合いが繰り広げられ、たくさんあった物品も一瞬でなくなってしまうほどでした。1日目の盛況ぶりを受け、2日目は長机や棚などを追加。また、消耗品お持ち帰りコーナーも2日間設け、事務用品や食器など、たくさんの物品をお持ち帰りいただきました。廃棄せず皆さんに還元することができ、また、2日間事故やトラブルもなく無事終了することができました。



46年間
ありがとう！

大盛況！青少年センターバイバイイベント

教育委員会では、3月1日(日)に青少年センターで「バイバイイベント」を開催しました。当日は、町内外からたくさんの方々にご参加いただき、さまざまなイベントを行いました。

企画①初！プラネタリウムでゲーム大会！？

今回のイベントで1番人気といっても過言ではない企画が「プラネタリウム×ゲーム大会」。イベント開始は10時からでしたが、その前から続々と参加者が集まり始め、スタート時にはなんと20人超え！プラネタリウムの大画面でリクライニングしながらゲームをプレイするという滅多にできない企画に参加者はワクワク。年齢や学年を問わない形での大会は、対戦者同士で交流し、仲を深める機会となりました。



企画②初！ペイント会！壁・床・窓自由に落書き

4月に解体される青少年センター。だからこそ最後に思い切っただけで、それは「ペイント会」でした。紙ではなく壁や床、窓に自由に色を塗ったり絵を描いたりするという稀な体験に、子どもから大人まで、手や服、靴がたくさん汚れるほど夢中になって落書き。殺風景だった景色がみるみるうちに色鮮やかに変わっていききました。

壁面には、子どもたちからの「ありがとう青少年センター」、「わすれないよ」、また、大人の方からも「46年間ありがとう」など、さまざまな温かいメッセージが。青少年センターが皆さんの記憶や思い出に残り、そして、成長とともに歩んできたことを感じました。施設はなくなりますが、いつまでも皆さんの記憶に留めていただければ嬉しいです。



企画③毎回大人気！図書室ものづくり体験

青少年センター図書室で実施していた、折り紙カーネーション作りやシュシュ作りなど、いつも大人気の「ものづくり体験」。今回のイベントでも、「気持ち伝えるポップアップカード作り」と「立体紙花づくり」を行いました。

今回も子どもたちに大人気で、参加者はスタッフから説明を受けながら、カードや紙花づくりにチャレンジ。皆さんとても上手に作製していました。

図書室は総合ケアセンターゆくりに移転しますが、移転後も「ものづくり体験」は行いますので、ぜひご参加ください。



企画④最後のプラネタリウム上映&天文台での天体観望会

当初、プラネタリウム上映と天文台での天体観望会はイベント初日の2月28日(土)に行う予定でしたが、天候不良のため、翌日3月1日(日)に変更して行いました。

日程変更にもかかわらず、子どもから大人まで町内外から多くの方々にご来場いただき、参加人数は約70人！プラネタリウムの定員を超える人数となったため、急遽2回に分けて上映するという人気ぶりでした。また、観望会は青少年センター屋上と天文台で行う予定でしたが、強風と曇天のため天文台のみで行いました。月や木星が見られるだけでも奇跡という状況でしたが、参加者からは「少しだけでも見ることができて良かった」との感想をいただきました。

天文台での天体観望会は終わりになりますが、今後は軽舞遺跡調査整理事務所で観望会を行いますので、ぜひお越しください。



令和7年度読書感想文コンクール



町内の小学生を対象に、「児童が自ら選んだ本を読み、読書によって感じたことや学んだことを感想文として自由に表現すること」を目的に冬休み期間中に開催した「読書感想文コンクール」に、町内2校の小学校から15点の作品が寄せられました。応募いただいた児童の皆さん、ありがとうございました。

また、2月21日（土）には表彰式を行い、遠藤教育長から受賞した皆さんへ賞状と盾が手渡されました。今回、受賞した児童は下記のとおりです。

- | | | | |
|-------|--------|----|-----|
| 【1年生】 | 《大賞》 | 大友 | 咲乃 |
| | 《優秀賞》 | 齋藤 | みちる |
| | 《優秀賞》 | 佐藤 | 翔太 |
| | 《優秀賞》 | 伴 | 帆乃香 |
| 【2年生】 | 《最優秀賞》 | 菅原 | 三椿 |
| 【3年生】 | 《最優秀賞》 | 中田 | 芙緑 |
| | 《優秀賞》 | 南部 | 真結華 |
| 【4年生】 | 《最優秀賞》 | 大友 | 晴仁 |
| 【5年生】 | 《最優秀賞》 | 浅井 | 碧優 |
| | 《優秀賞》 | 佐藤 | 優太郎 |
| 【6年生】 | 《最優秀賞》 | 西埜 | みのり |
| | 《優秀賞》 | 三浦 | 萩 |

※敬称略



表彰式で笑顔を見せる12人の受賞児童



大賞作品

『アイスクリームをたべたい日』

厚真中央小学校 1年 大友 咲乃

わたしは、はずかしがりやです。

『もじもじこぶくん』をよんだとき、おなじなかまがいるとおもってうれしかったです。

こぶたのこぶくんはとってもはずかしがりやです。こぶくんはアイスクリームをかいにおみせへいったけど、やっぱりはずかしくて、なかなかこえがでませんでした。

そのとき、こぶくんの耳に小さなこえがきこえてきました。ありのありいちゃんでした。ありいちゃんは、からだもこえも小さいから、アイスクリームをなんどもちゅうもんしているのに、だれにも気がついてもらえなくて、なっていました。

こぶくんは、ありいちゃんがこまっているのをみてたすけてあげたいとおもいました。こぶくんは、じぶんでもびっくりするくらい大きなこえでちゅうもんし、ありいちゃんとアイスクリームを食べることができました。

わたしは、こぶくんが大きなこえでちゅうもんできて、がんばっているんだなおもいました。

わたしは、はずかしがりやで、まわりの人にあいさつがあまりできていないので、これからは、こぶくんみたいに大きなこえでげんきよくあいさつをしたいです。そして、はるになったら、わたしは、二年生になるので、一年生がこまっているときに、たすけてあげたいです。

厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所がある方の子弟で、大学等に進学された方のうち、一定の選考基準を満たす方に学資金の貸付を行っています。

●貸付対象者

- ①短期大学、大学、大学院（防衛大学校等を除く）
- ②高等専門学校（第4・5学年及び専攻科）
- ③専修学校専門課程（2年以上4年以内）
- ④国外において①～③に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記①～④の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

●選考基準

学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

●貸付月額

月額6万円を限度に1万円単位で希望する額

●利息 無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されません。

●貸付方法

希望される金融機関の口座（保護者等）へ毎月上旬にお振り込みします。

- ・通常貸付：初回貸付は7月中旬（4～7月分）
- ・早期貸付：初回貸付は6月中旬（4～6月分）

※早期貸付の場合、前年（令和7年）の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。

●返済方法

卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間で返済していただきます。

●提出書類

- ①申請書（町HPからダウンロードまたは教育委員会に用紙があります）
- ②在学証明書（進学先の証明書）
- ③成績証明書（最後に在学していた学校の証明書）
- ④健康診断書（入学後、学校で受けた結果の写し）
- ⑤課税資料閲覧承諾書（申請書に添付します）

●申込期限

5月29日（金）まで（ただし、早期貸付（6月）を希望される場合は4月30日（木）までに申請が必要です。）

★申込・問合せ 学校教育グループ

☎27-2494

町ホームページ（厚真町育英資金貸付）⇒



2月定例教育委員会

2月24日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告

2月校長会議・教頭会議／令和7年度第5回厚真町教育研究所運営委員会／第1回スケートまつり／小学校3年生社会科授業「昔の道具調べ」／第29回室内ソフトボール大会／読書感想文コンクール表彰式／あつまでプレーパーク／厚真高校生活魅力化プロジェクトにおける探究に関する講演会／北海道教育魅力祭

◆議案

1人1台端末の活用に関するガイドラインの制定について

◆その他

入学式・卒業式の出席委員について／学校給食費の改訂予定について／転入教職員歓迎式

★問合せ

学校教育グループ ☎27-2494

令和8年度就学援助のお知らせ

教育委員会では、次のいずれかに該当する世帯に対して学用品費等を援助しています。

- ◆対象
 - ①生活保護が停止か廃止になった世帯
 - ②町民税が非課税か減免になった世帯
 - ③個人住民税や固定資産税が減免になった世帯
 - ④国民健康保険料の免除・減免、または徴収が猶予された世帯等
 - ⑤その他、経済的に困りの世帯

◆援助内容 学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費等

◆提出書類

- ①令和8年度要保護及び準要保護児童生徒認定申請書
- ②前住所における令和8年度（令和7年分）課税所得証明書（令和8年1月2日以降に転入された方のみ）
- ③対象の世帯であることが証明できる書類の写し

◆提出期限 4月8日（水）～5月29日（金）

◆提出先 就学先の学校に提出してください。

◆その他 申請後に審査が行われ決定します。就学援助の決定を受けた方で高等学校等に進学される方は、「厚真町木本建設入学準備金」を給付しますので、改めてお知らせします。

★問合せ 学校教育グループ

☎27-2494

町ホームページ（就学援助）⇒



図書室だより

4月1日 ゆくりに図書室オープン！

3月の移転作業は、皆様のご理解とご協力もあり、無事終了することができました。

書架が減る分、青少年センター図書室の蔵書も減らさなければいけませんでした。ゆくりを持っていけない本は厚南会館2階図書室の本と入れ替えました。絵本以外のほぼすべての本を入れ替えることができ、大変良い機会となりました。ぜひ、厚南会館図書室もご利用ください。残った本は、リサイクル本として配布いたしました。大勢の方にお持ちいただけたようで、本当に感謝いたします。

スタッフ一同もっと楽しめる図書館を目指してアイデアを出し合っておりますので、4月1日皆様のご利用をお待ちしております。

【厚真町 ゆくり図書室】

場所: ゆくり1階 健康増進室

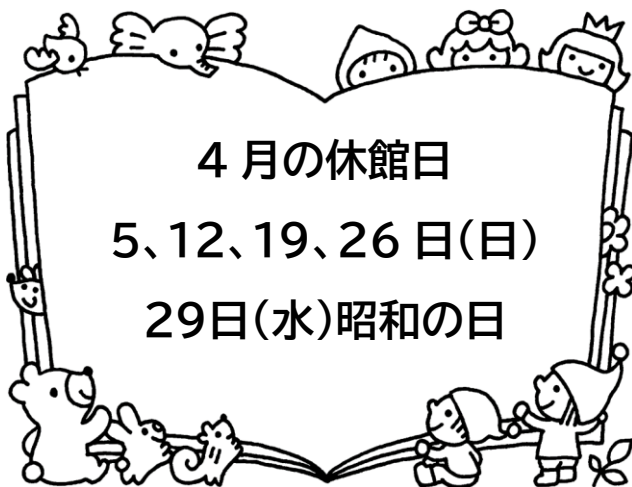
(ゆくり1階の右側の大きな部屋です)

開館日: 月～土曜日

開館時間: 9時00分～17時00分
火・木のみ 19時まで開館

休館日: 日曜日、祝日、年末年始
※4月から日曜日も休館日となります。

- ・ ゆくり図書室では、貸出サービスはカウンタースタッフが行います。借りる本と利用者カードをカウンターまでお持ちください。カードを忘れた方は、カウンターでお名前確認させていただいて貸出いたします。
- ・ 1月末からの長期貸出の返却日は4月3日(金)です。忘れずに返却ください。



■青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土)

9時00分～19時00分(火・木)

※日曜日、祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

あそびに
きてね！

4月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは
23日(木) 10時00分から10時30分まで
場所: 厚真子育て支援センターです。



☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

子どもたちと歩く帰り道、ふと足元を見ると雪解け間もない地面から、福寿草が顔を出していました。頬にあたる風はまだ冷たいけれど、日差しには春の柔らかさを感じるこの季節、これまで長い時間を共にした6年生が巣立っていきます。コロナ禍真ただ中に入学し、通常であれば、1カ月ほど学校生活に慣れた頃から子ども教室への参加が始まる新1年生ですが、このときは、緊急事態宣言の影響で、学校生活の始まりとほぼ同時に放課後の活動も始まりました。3密を避け、マスクの着用などたくさんの制約がある中で、新しいことに会っていく毎日は、子どもたちにとって良くも悪くも刺激が多かったことと思います。そんな大変な環境にあっても、遊びもケンカも、全力で相手と向き合い、子どもたちが遊んでいるだけで、周りがパツとにぎやかになるパワーを持っている学年だったかと、一緒に過ごした6年間を振り返って感じています。卒業していく背中を見て、寂しくもあり、嬉しくもある3月です。

3月7日(土)に2025年度の放課後子ども教室・活動報告会を厚南児童会館で開催しました。子ども教室の参加者やその保護者、町内外の地域の方々など40人ほどにご参加をいただき、1年間の活動を写真とともに振り返りました。放課後子ども教室は2012年に始まり、この3月で丸14年間活動を行ってきました。『自分が育ったまちのことを、自分の体験をもとに、自分の言葉で語れる人を育てる』ことを目指し、人・自然・産業・文化など地域の資源と子どもたちが出会う機会を生み出しています。地域資源と出会うことで、自分が暮らしている厚真町を好きでいてもらいたい。そして、今よりもう少し大人になったとき、厚真にずっと住んでいる人もいれば、厚真を離れたり、離れて戻ってきたり、子どもたちがどんな道を歩むかわからないけれど、どんな場所で暮らしていても、自分がその時に暮らすまちについて関心を持てる人になってほしいと願っています。

しかし、子ども教室の活動だけでは、この願いをかなえるのは難しいとも思っています。だからこそ、厚真町の特色を生かした学校教育、放課後児童クラブ、福祉や産業経済といった異なる分野で展開される地域活動など、子どもたちを取り巻く環境において、それぞれに得意な部分で力を発揮し、不得手な部分を補い合い、「みんなでやればできる！」を合言葉に教育活動を進めていくことが必要だと考えています。地域活動同士の輪の広がりや、学校や家庭との連携も少しずつ進んでいると実感していますが、学校の実情について学びを深めるとともに、厚真町が教育を通して目指すその先を共通の目標としてお互いに共有し、協働できる方法を見つけていきたいと思っています。決していうほど簡単な道ではないですが、コミュニケーションをとることをあきらめず、子どもたちの未来につながる種まきだと信じて、15年目の春を迎えたいと思います。

